

て見れば、輪廓をとつて後、オレンヂヴ
アーミリオンの淡いもので全體にワッシ
を試み、次に幹の色を塗り、オーレオリ
ンを以て幹を除いた部分を一面に塗り、コ
パルト、オルトラマリン、インヂゴ等
によつて成れる綠色にて杉の葉を畫き、
前景の草は透明色の黄を重にして描き、
花は後にホワイトを混じて置きたるもの
なり。四 多くの場合不可なり曇りし日な
どはよけれど、晴れて濃き空色など、地
の方へ塗ると日向の感じを失ふ場合あら
ん、空の色よりも其時の光線の色空氣の
感じを全畫面に塗る方がよし。ローズマ
ダーレモンエローコパルトの三原色にて
畫かんとする時は、少しにても青味を帶
びたるものはコパルトを用ふるといふ風
になすべきものによ(福岡R.T生)◎意味
不明なれど、假に三色の繪具で寫生する
時には、其三色を巧みに混合して實物の
色を出したらよい、又パレットの上で混
合せずに、點若くは線で畫くのもよい、
その方が却て感じがよく出るかも知れな
い。原田直二郎先生記念帖購求したし發

行所代價を問ふ(駒田彦太郎)◎該帖は會
員の方に頒ちしものにて僅かに百五十部
の印刷に止まり、一々番號を附してある
といふ珍本なれば手に入ること難からん

讀者の領分

■本欄を見る毎に半を下ると古物屋の廣
告を讀むやうである、諸君チト有益な投
書をしては如何(福岡白羊)■十五日野
に白馬會展覽會を見る、六百五十七點の
うち水彩畫は五十餘點、太平洋と比すれ
ば顔色なしだ。湯淺氏滯歐中の水彩は群
を抜いてゐる、アルカサル宮殿フェルタ
デル門など實に日向の感じが出て居る、
氣持のいゝ繪だ。南薰造氏のテースム河
の夕景も面白い。中澤氏のスケッチはよ
く感じが出てゐる、オルトラマリンを其
儘つけた處などは面白い。太田福藏氏の
花の下は、落花が雪でも降つてる様で地
面も櫻花もさつぱり春らしい感がない。
川名博氏の教會は眞面目であるが吾々素
人には面白くない。萬代氏の雨の晴れ間
はよい。其他は小品物で特に言ふ程のこ

ともない(北島宇明)■廣島地方に夏期講
習會を開かれたし(中國坊)■九州福岡邊
の有志にして夏期講習會を開く事に賛成
者なきや、まだ吾が九州には一回もかゝ
る企なし、聲を大にして幹部を動かし
ては如何(福岡R.R生)■大坂附近にて講
習會を開かれたし(浪華浪客)■前號の
『みづゑ』は繪畫よりも本文の方がよい
『さつきの旅』は面白かつた。柳や草山や
杉の木など異つた地の風光を思ふ儘に畫
いてゆける旅はどんなに面白いだらう。
繪のうちでは河合先生の寫眞版が佳い
(清平)■『みづゑ』六十二は各號に比して
大分不味かつたと思ふた(Y.N.K生)■
この間隣り字の社の木蔭で寫生をしてゐ
たら、何時の間にか集まつたか小供等がワ
イ／＼／＼、僕の様子をちつと見てはヤ
イ／＼／＼、氣狂ひぢやアないか、又ワイ
／＼／＼、仕舞には石の雨が頭上に降つ
て來さうな氣配だつたが、それでも不相
變知らん顔をしてゐたら、いつの間にか
子供達は僕の後を廻つて、時々キレーだ
なア／＼と言つたが、あながち僕の繪を

ほめたのぢやアないような(夕暮生)■

田君の言の如く廣島市に研究所を開いては如何、御盡力ありたし(今井哲三)■

『みづゑ』の七月號は今より待遠しい、會

友も益々多くなるので、今一枚位原色版

をのせて頂くわけにはゆきませうまいか、

併し近頃頁數の多くなつたりは喜ばしい

○會友諸君肉筆繪畫の交換を乞ふ(伊豆

韭山村韭山柏木俊一)■私四月號からの

讀者です、五月の『みづゑ』原色版『森の

下道』は非常によい、私は其所に往つて

るやうな心持になりました、たゞ藍色が

多くはなかつたでせうか。石川先生の御

講話面白く拜見、有益と思ひました。『さ

つきの旅』はよい讀物です、今後も此種

類のものを御登載下さい○讀者諸君肉筆

繪ハガキの交換を望む、拙なれど必ず返

葉致します(長野縣北佐久郡岩村田町關

口勝利)■紀念號の發行を鶴首して待つ

○前號で嬉しかつたのは口繪の美、がつ

かりしたのは三脚物語の休載(大阪富岡

洗帆)■『みづゑ』六十二『森の下道』ほ

の暗い森の心持がよく、紅い小さい花、

白い小さい花、紫の花、あゝ何と可憐な

姿でせう。石川先生の『キレーな繪キタ

ナイ繪』成程と合點しました○不肖なが

ら僕は下手な横好非常の熱心家のつもり、

コマ繪でも水彩でも御葉書を下さい○ス

ケツチ箱の中古を譲つて頂きたい○文房

堂の革留三脚があります普通の品と交換

して差上げませうか(京橋木挽町二ノ十

三太田堅之助)■本欄で書籍物品の譲り

渡し等は悪いとは言はぬが、時に其爲め

に不徳の行爲を爲すものがあるから注意

を要することと思ふ。僕は或人から本を

譲り受けるつもりで送金したが、其手紙

が着かぬといふので少なからぬ金を捨て

た、着かない手紙なら歸る筈だが、一ヶ

月にもなるが沙汰なし、記者様交換等の

ことは廢めたら如何でせう、今後コノ様

なのが無いとも限らぬから(菅野三郎)○

交換買賣等弊害もあらんが又便利を感ず

ることもある、それ故、曾て本會で仲介

者となり取次を試みたが、面倒と思つて

か又は送料等二重に要するを厭ふてか、

あまり依頼者もなくして自然中止になつた

他の諸君が御同感となら、何日でも交換

買賣の記事を取去りませう■一色畫(鉛

筆も)の研究を熱心眞面目になさる方と

交換を願ひたし、但寫生に限る(長野縣

下高井郡往郷村三五四、山田直一)■

御不用のスケツチ箱及畫架を安價に譲ら

れたし(廣島市外横川神田周二)■『日本

名所寫生紀行』第二卷希望につき安價に

譲らるゝ方は代價御一報ありたし(大阪

桃山筆ヶ崎町五五二五福島)■『みづゑ』

第六、八、九、十一、十三、十四、十七、

十九、三十五、四十六、四十七、五十、五

十二等御不用の方は相當代價にて譲られ

たし、但御照會の期限は六月限(本郷區

根津八重垣町三十七岩美館會安素)■『み

づゑ』六十九(五十九の間違か)御不用の

方は相當の代價にて御譲を乞ふ○自筆繪

葉書交換希望(信州上田町山浦多賀)■

文房堂販賣最上等鋏どめ三脚不用につき

『女性と趣味』か『みづゑ』十冊(四十六號

以前のもの)と交換を乞ふ(鹿兒島縣川

邊郡川邊村平山上野方勝田勝明)△△△

△△△△△△■『鉛筆畫法』『藝苑雜稿』

『繪畫講話』を所持す、吉田氏『寫生旅行』
『最新水彩畫法』と交換を乞ふ、又は適當
の價にて御賣り申てもよろし（埼玉縣入
間郡川越町北久保町肥塚方中島淨城）
『洋畫講義錄』全部（合本クロース背革欠
本なし）三圓五十錢以上にて大至急譲り
たし○審美書院發行第二回公設展覽會圖
錄洋畫の部譲受たし（淺草區西島越二、
關方不朽生）
■十六切形スケッチ箱原價
三圓一二回使用せしもの送料共二圓にて
譲る、着金次第送る（静岡市静岡中學校
内島崎清）
■ホースター臨畫帖全部七十
二冊揃、最も新しきものあり、大廉價三
圓八十錢にて、昨年三號發行スタヂオ一
部三十五錢にて譲る○肉筆交換希望（三
重縣棕本局區内多門駒田彦太郎）
■油繪
道具のうち、油壺、パレットナイフ、パ
レットを除き其他約束濟。三脚も同様パ
レット、パレットナイフ、油壺の三個送
料共七十五錢にて譲る、又は同價の美術
雜誌と交換するもよし○肉筆水彩繪葉書
交換希望○吉田氏『寫生旅行』上製送料共
一圓三十錢に、橋本辻家兩氏著『洋畫一

斑』同じく六十錢、二冊入用なら一圓七
十錢で譲る（神奈川県鎌倉長谷堀谷一郎）
■『洋畫講義錄』全部合本せるもの安價に
て譲る（吳市松本町二、今井哲三）
■ワッ
トマン十六切上製畫囊、机上畫架、ニュ
トマン製アルミニウム水彩丸形パレ
ット、ボールジョイス水彩繪具十八色入、
油繪スケッチ箱上等桐製大形、パレット
ナイフ、以上何れも新品安價にて譲りた
し乞照會（大和國郡山町淺田政治）
■ミレ
ー油繪スケッチ箱少々使用せしもの（元
價三圓）壹圓にて譲りたし（京橋區弓町四
高村政次郎）
■『女性と趣味』御不用の方
は譲り受けたし（神戸市荒田町三丁目一
八〇ノ一三坂上一二）
■石見の飯田君廻
覽帖は一先中止のよし、私は殘念に思ふ
から發起者となりて實行したく、小數で
も熱心の方のは賛成を願ふ。規定は、鉛筆
水彩等種類を問はず、繪は可相成寫生を
主とし、畫面はワットマン十六切大位ひ
とし、畫題、寫生の月日、天候等を別紙
に添へて、御郵送あらば結構（津市立町
二二太田新太郎）

紹介（その三）

◎夢二畫集花の巻 目下雜誌の挿繪界に
流行兒と謠はるゝ竹久君の木版畫を集め
しもの。未醒の澁味なく、芋錢の剽逸な
く、成美の品位なけれど、華やかにして
落筆巧みなれば、現代一部の青年男女に
歡迎せらるることならん。此集は二三色刷
の木版數葉をも加へ、製本また美なり（定
價四十錢麴町二丁目洛陽堂發行）

◎太平洋畫會畫集 昨今開會中の同展覽
會作品四十九點を集めたり。例年の分に
比して印刷極めて鮮明、體裁また頗るハ
イカラなり。地方に在て、東都畫界の傾
向を知らんとする人には必需の書なるべ
し（定價八十錢本郷區眞砂町三八高尙堂
發行）

■福井市に於て、本年八月水彩畫の夏期
講習會開催の計畫あり、成立の上は來月
號本誌に廣告すべく該地方讀者の參會を
望む。